

H.C.R. 2012 プレスリリース 総集編

発行：2012/09/24

<http://www.hcr.or.jp>

老人と障害者の自立のための

39th 国際福祉機器展 Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2012

会 期：2012（平成24）年9月26日（水）～28日（金）

会 場：東京ビッグサイト 東展示ホール（東京都江東区有明）

出展社数：約540社・団体（日本482社・団体、海外58社）※見込み

開場時間：午前10時～午後5時

入 場 料：無料（登録制：当日または事前）

主 催：全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会

15か国・1地域から548社が出展 前年比38社増により開催！

いよいよ国際福祉機器展 H.C.R.2012 が、9月26～28日の3日間、東京ビッグサイトで開催されます。

介護・福祉機器の分野の展示会では、世界でも、アメリカの Medtrade、ドイツの REHACARE に次ぐ、アジア最大規模といわれる H.C.R.には、今年は15か国・1地域からの548社の出展による、約20,000点の最新の福祉機器が集中展示されます。出展社数は前年度比で38社増と、規模を拡大しての開催です。

【開催内容】

1. 福祉機器約20,000点を総合展示

2. 国際シンポジウム

【1】「税と社会保障の改革で財政危機と高齢化に立ち向かう ～デンマークの取り組みは日本に生かせるか～」

◆開催日時：2012年9月27日（木）13:00～16:00 ◆会場：東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608会議室」

◆講師：Ole Kjaer（オーレ・ケアー）氏／デンマーク国税省・税制度検討推進役、元デンマーク国税・関税管理局局長

◆チューター：近藤 純五郎氏（元厚生労働事務次官、弁護士）

◆参加費：1,000円

※H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) による事前参加申込受付は、満席のため終了させていただきました。

当日12:30よりキャンセル分のみ参加申込を受付いたします。

3. H.C.R.セミナー〔共通資料あり〕

◆開催日：2012年9月26日(水)～28日(金)

◆会 場：東京ビッグサイト・会議棟6階「605-608 会議室」及び7階「703 会議室」

◆プログラム

9月26日(水)			
時間	テーマ	対象者	会場
11:00～12:30	【2】腰痛を予防する介護の方法・基本編 ～ボディメカニクスの理解と活用～ 手話通訳	一般、福祉利用者・家族向け	会議棟 6F
13:30～15:30	【3】福祉施設における感染症の知識と対応	福祉職向け	会議棟 7F
13:30～15:30	【4】生活保護3兆円の衝撃	福祉職向け	会議棟 6F

9月27日(木)			
時間	テーマ	対象者	会場
10:30～12:00	【5】有料老人ホーム、サービス付高齢者向け住宅等の現状と選び方 手話通訳	一般、福祉利用者・家族向け	会議棟 6F
13:30～15:30	【6】社会福祉施設等における生きものの活用 ～動物愛護から生物多様性保全まで	福祉職向け	会議棟 7F

9月28日(金)			
時間	テーマ	対象者	会場
11:00～12:30	福祉施設で実践されている福祉サービスの「創意・工夫」の取り組み① (【7】危機管理に対する取り組み) (1)災害想定訓練～食事の安全な提供に向けて (2)送迎時の車両事故防止策に固定チームを導入して (3)男性浴室における事故の減少のための環境改善	福祉職向け	会議棟 6F
13:30～15:30	福祉施設で実践されている福祉サービスの「創意・工夫」の取り組み② (【8】ケアの場面における創意・工夫) (4)現場ですぐに役立つテキスト(手引書)を現場で つくる (5)特別養護老人ホームにおける腰痛予防の取り組み ～持ち上げない介護の実践を目指して (6)暑い夏を乗り越えよう!～ひと涼みしましょうプ ロジェクト (7)通所介護における科学的介護の実践ー口腔機能向 上の取り組み (8)漬物つけたんでえ。食べてみて～片麻痺利用者の 調理活動へのチームアプローチ	福祉職向け	会議棟 6F

13:30～15:30	福祉施設で実践されている福祉サービスの「創意・工夫」の取り組み③ 【9】 地域社会との関わりやセーフティネットづくりに向けた取り組み (9)認知症になってもこの街に住みたい (10)福祉と農業による地域の活性化をめざす (11)家族会を中心としたNPO法人設立による法人後見への取り組み (12)生活保護受給者を自法人にて雇用の事例 (13)地域生活定着支援センター・セーフティネット拠点事業	福祉職向け	会議棟 7F
-------------	---	-------	-----------

※各プログラムの共通資料を1部1,000円で販売します。

※セミナーへの参加自体に係る費用は無料です。

※H.C.R.WEBサイト (<http://www.hcr.or.jp>) による事前参加申込受付は、終了させていただきました。これから参加をご希望の方は、当日のプログラム開始30分前よりお申込を受付いたします。

4. H.C.R.セミナー〔プログラム資料を当日販売、配付〕

特設会場 A (東3ホール内)

【10】 はじめての福祉機器 選び方・使い方セミナー 手話通訳

26日 (水)	11:00～12:00 「住宅改修」 首都大学東京 健康福祉学部准教授 橋本 美芽氏		13:00～14:00 「トイレ・排泄用品」 NPO 法人 日本コンチネンス協会 牧野 美奈子氏		15:00～16:00 「入浴機器」 高齢者生活福祉研究所所長/ 理学療法士 加島 守氏
27日 (木)	11:00～12:00 「ベッド」 福祉技術研究所(株)代表取締役 市川 洸氏		12:30～13:30 「リフト等移乗用品」 福祉技術研究所(株)代表取締役 市川 洸氏	14:00～15:00 「車いす」 (財)武蔵野市福祉公社作業療法士 堀家 京子氏	15:30～16:30 「自助具」 ヒューマンユニバーサルデザインオフィス代表 岡田 英志氏
28日 (金)	11:00～12:00 「福祉車両」 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局自立訓練部機能訓練課自動車訓練室 熊倉 良雄氏 国立障害者リハビリテーションセンター病院リハビリテーション部副理学療法士長 岩崎 洋氏		13:00～14:00 「杖・歩行器等補助用品編」 高齢者生活福祉研究所所長/ 理学療法士 加島 守氏		15:00～16:00 「コミュニケーション機器」 東京大学先端科学技術研究センター人間支援工学分野教授 中邑 賢龍氏

※自由参加、先着順にご案内いたします。

※副読本として、「基本動作編」「住宅改修編」「自立支援編」の3種類を発刊しています。1冊100円です。

特設会場 B (東 6 ホール内、ガレリア入口横)

【11】知っているとこんなに便利！IT 機器の福祉的活用講座 手話通訳

26 日 (水)	12:20～12:50 「タブレット PC でコミュニケーション ～iPad と新しい Taking Aid」 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)		14:20～14:50 ゲーム機を福祉に 活かす～キネクト を使った重度肢体 不自由支援 巖淵守 氏 (東京大学)		16:10～16:40 タブレット PC と 障害児支援～ iPad を魔法の 筆箱や魔法のじ ゆうたんに変え る 中邑賢龍 氏 (東京大学)
27 日 (木)	12:00～12:30 タブレット PC や携帯電話のアクセシビリティ ～障害のある人が iPhone や iPad を使う には？ 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)		13:30～14:00 デジカメや IC レ コーダと認知障 害支援 中邑賢龍 氏 (東京大学)		15:00～15:30 PC のアクセシ ビリティ～障害 のある人が Windows を使 うには？ 近藤武夫 氏 (東京大学)
28 日 (金)	12:20～12:50 ゲーム機を福祉に活 かす～キネクトを使っ た重度肢体不自由支 援 巖淵守 氏 (東京大学)		14:20～14:50 タブレット PC や携 帯電話のアクセシ ビリティ～障害のあ る人が iPhone や iPad を使うには？ 田代洋章 氏 (e-AT 利用促進協会)		

※自由参加、先着順にご案内いたします。

特設会場 C (東 6 ホール内)

【12】高齢者むけの手軽な日々の食事～市販の惣菜やレトルト食品もおいしくバランスアップ 手話通訳

「特設会場 C」の特設ステージにて、毎日 13:00～14:00 の時間帯に「高齢者の料理講座」として開催します。
(※自由参加、先着順にご案内いたします。)

- ◆講師 今 寿賀子 氏 虎の門病院栄養部部長
- 押田 京子 氏 虎の門病院栄養部副部長

※H. C. R. 2009 から本講座で紹介してきたレシピを全て掲載した冊子を、本講座会場にて販売しております。
1 冊 700 円です。

5. H.C.R.特別企画

特設会場 C (東 6 ホール内)

【13】 ふくしの相談コーナー

作業療法士や技師などの専門家が来場者の福祉機器、自助具に関わる相談に無料で応じます。

(協力: 日本作業療法士協会、大阪府肢体不自由児協会大肢協ボランティアグループ 自助具の部屋)

【14】 障害児のための「子ども広場」

障害のある子どもの発育段階において、福祉機器の利用は成長と生活において大きな可能性を拓けるものです。そこで、子ども向け福祉機器の開発・普及を目的に「子ども広場」を会場内に設置して子ども向けの福祉機器を総合展示するとともに、福祉機器の利用や療育についての相談コーナーや、保育士が常駐するひとやすみコーナーなどを設けます。

◆福祉機器展示コーナー

終日展示。展示製品について、下記時間帯に説明を聞くことができます。

- ①車いす ②バギー・歩行器 ③いす・カーシート
④学習機器／コミュニケーション機器 ⑤食事用具・食器／衣類・靴

	11:00～12:00	15:00～16:00
9月26日 (水)	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器
9月27日 (木)	○車いす ○バギー・歩行器	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴
9月28日 (金)	○いす・カーシート ○学習機器／コミュニケーション機器 ○食事用具・食器／衣類・靴	○車いす ○バギー・歩行器

◆相談コーナー

下記時間帯に、各種相談できます。

9月26日(水)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月27日(木)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00
9月28日(金)	11:00～12:00	13:00～14:30	15:00～16:00

※療育相談と福祉機器について、それぞれ2名の担当が相談を受け付けます。

(協力: 横浜市リハビリテーションセンター)

◆子どもたちの「ひとやすみコーナー」

保育士が常駐しています。広場のおもちゃを使って子どもたちと遊んだり、保護者(親)のみなさんと子育てについてお話ししましょう。(協力: 東京都社協保育士会)

【15】福祉機器開発最前線（デモンストレーションに **手話通訳**）※

高齢者・障害者の自立と介護を支援する福祉機器は、現在さまざまな場面で日常生活に浸透してきています。特にここ数年は、人間工学やセンサー技術の導入など、最新のテクノロジーを活用した福祉機器の研究・開発が盛んに進められ、高齢者・障害者の可能性を拓けてきました。

そうした企業・研究機関の研究開発、試作状況などの情報提供や紹介の場として設けられた本企画では、今回は、トヨタ自動車(株)が国内外の展示会を通じて初の発表となる『生活支援ロボットHSR（Human Support Robot）』の展示、デモンストレーションを行うほか、11つの企業・団体からの計8つの注目の新製品が展示されるなど、最先端の研究・開発に関する情報が発表される予定です。

<出展企業・団体と展示・デモンストレーション予定の製品>

1. アイシン精機(株)、(株)今仙技術研究所、国立障害者リハビリテーションセンター研究所、独立行政法人産業技術総合研究所
片流れ検知・軽減走行技術を用いた安全で使い勝手の良い電動車いす
2. (株)オーエックスエンジニアリング
着脱が容易な電動ユニットを装備した電動手動兼用車いす（開発呼称：03E）
3. オットーボック・ジャパン(株)
ヒトの手が持つ滑らかな動きと、装着者の使いやすさを両立した、最先端の筋電義手ハンド「ミケランジェロハンド」
4. (有)さいとう工房
障がい変化対応ユニットモジュール型電動車いす「レル・シリーズ」
5. 千葉工業大学 中嶋研究室
段差や凸地形、溝などがあると車輪を脚のように持ち上げて不整地を移動できる「パーソナルモビリティビークル RT-Mover P type3」
6. トヨタ自動車(株)
生活支援ロボットHSR（Human Support Robot）
7. 日本精工(株)
障害物を回避しながら使用者を先導する「障害物回避先導ロボット NMR002」
8. (株)モリトー
運搬性に優れた組立・収納しやすい介護リフト「携帯リフト」

※企業名は五十音順

【16】ふくしの防災・避難用品コーナー（デモンストレーションに **手話通訳**）※

昨年の東日本大震災や異常気象による被害で多くの福祉施設が被害を受けたことを踏まえ、今後の災害に備えるため、福祉施設向けの防災・避難用品や被災地で役立つ福祉機器を昨年度に引き続き集中展示いたします。

本年度は、発災から概ね2日間、避難所など安全な場所に身柄を確保されるまでに必要な製品に展示テーマを絞り込み、

- ①「発災」から「一時避難」（初期対応、移動、コミュニケーションなど）に必要な製品
 - ②「一時避難・避難生活関連」（トイレ、マット・毛布・シート、水、食事、電源、照明、暖房、住居など）の製品
- の2つのスペースに区分し、臨場感のある展示とデモンストレーションを行います。

【17】被災地応援コーナー

昨年に引き続き、東日本大震災で特に被害の大きかった東北3県（岩手県、宮城県、福島県）のセルフ（障害者授産施設）の製品を販売いたします。

また、このほかにも、東日本大震災での被害を乗り越え、復興を支援していくためのプログラムとして、「福祉人材センター」が、被災3県における福祉・介護人材を確保するための取り組みを「出展社プレゼンテーション」を通じて状況報告するほか、展示ブースを設けて「福祉の仕事」に対するの様々な情報提供などを行います。

★福祉人材センター

東日本最震災で特に被害が甚大だった岩手、宮城、福島の3県では、被災を期に急激に福祉・介護に従事する人材が不足しました。そして、今もなおその状況は、十分には解消し切れずにあります。

今回の出展社プレゼンテーションでは、「東日本大震災被災3県における福祉・介護人材確保」と題して、そうした3県の福祉・介護人材確保の状況をお伝えします。

もちろん、**展示ブース（小間：2-15-13）**では、福祉の仕事の全般に関わる情報提供や相談などにも応じます。福祉の仕事に志をお持ちの方の、多数の来場をお待ちしています。

***特設会場C**のセミナー・デモンストレーションの開催予定は以下のとおりです。

「特設会場C」で催される**6. 福祉機器開発最前線**、**7. 高齢者むけの手軽な日々の食事**、**8. ふくしの防災・避難用品コーナー**のセミナー・デモンストレーションについては、以下のように開催します。

26日 (水)	10:30~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション
27日 (木)	10:30~12:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション
28日 (金)	10:30~12:30 福祉機器開発最前線 デモンストレーション		13:00~14:00 高齢者むけの手軽な日々の 食事		14:30~16:30 ふくしの防災・避難用品 デモンストレーション

※自由参加、先着順にご案内いたします。

【18】高齢者・障害者等の生活支援用品コーナー ～片手で使えるモノ展～

高齢者や障害者の生活を便利にすることを目的とした福祉用具や用品を展示する本コーナーでは、本年度は、ブース内を一日の生活のなかのいくつかの具体的な場面に分け、場面ごとの便利グッズや製品を紹介いたします。

片手で使うのに便利な製品に展示テーマを絞り込み、「片手で使えるモノ展」と題して開催いたします。

(企画・監修：共用品推進機構、協力：日本作業療法士協会)

※プログラムタイトルの横に**手話通訳**マークのついたプログラムは、手話通訳を行います。

H.C.R. 2012 事務局

(財)保健福祉広報協会

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル 5F

TEL. 03-3580-3052

FAX. 03-5512-9798

【H.C.R.開催期間中の東京ビックサイト内での事務局ご連絡先】

TEL. 03-5530-1180

FAX. 03-5530-1601

※9月26日(水)9:00～28日(金)18:00の期間となります。

<http://www.hcr.or.jp>